

英国金融政策（2022年12月）

利上げ幅を0.5%ポイントへ縮小

2022年12月16日

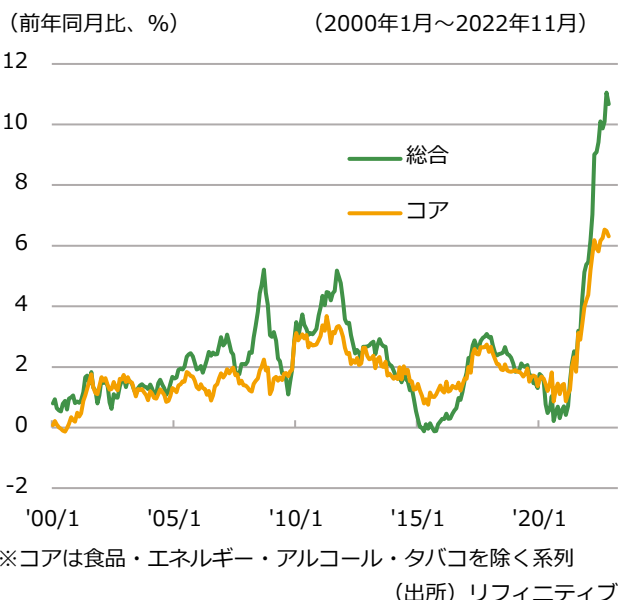
追加利上げを示唆も、結局は物価動向次第

BOE（イングランド銀行）は12月15日（現地）、市場予想通り政策金利を3%から3.5%へ引き上げることを発表しました。BOEは2021年12月に利上げに転じ、2022年中は11月まで利上げ幅を段階的に拡大しつつ毎回利上げしてきましたが、今回は0.75%ポイントから0.5%ポイントへ利上げ幅を縮小しました。票決は6対3で、反対のうち2名が据え置きを、1名が0.75%ポイントの利上げを主張しました。

BOEは中期的にはエネルギー価格の下落や需要の鈍化、失業率の上昇等で、インフレ率は低下基調で推移するとの見通しを11月の金融政策報告書で示しています。短期的にも2023年1-3月期にはエネルギーや他の財の価格の上昇の寄与が一巡することで、インフレ率は徐々に低下するとの見通しです。実際、11月の消費者物価指数は前年同月比10.7%と、10月の同11.1%から鈍化しており、インフレにはピークアウトの兆しが窺えます。しかし、労働需給は引き締まったままであり、賃金やサービス価格の上振れを受けて利上げを実施したとBOEは説明しています。追加利上げの可能性も示唆し、インフレ圧力がより持続的であると見込まれば、必要に応じて力強く行動するとも述べています。逆に、インフレ率が速やかに低下するようであれば、結果的に今回の利上げで打ち止めとなる可能性も排除できません。

この日ポンドは対米ドルで終日下落していますが、相対的に慎重なBOEの金融政策姿勢の織り込み、反映と言うよりは、米ドル全面高の中での事象と捉えられます。

英国の消費者物価指数



英国の金利と為替



当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはいくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。